

## 子どもとメディア

2004.02.27

1月26日に日本小児科医会より、子どもとメディアに対する提言がなされました。提言の内容は次の通りです。

- 1.2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう
- 2.授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
- 3.全てのメディアへの接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- 4.子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- 5.保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。

アメリカの小児科医の団体はすでに2年ほど前に、2歳前の子どもにテレビを見せてはいけないとの提言を発表しています。この背景には、乳幼児の人と人が接して関わり合いをもつ、人として成り立ちの一番大切なことが成長する時間にテレビを子守代わりにさせることが、子どもの心の正常の発達を強く妨げているのではとの考えがあります。

実際、ここ数年顕著に人とかかわりがうまくできないなど、正常発達に疑問を持たざるをえないような子どもが函館でも増えているというのが現実です。

もう一つの問題は、テレビやビデオによって暴力的な映像を長い時間見ていることへの影響です。最近の研究では後の暴力事件との関係が明らかにされています。

トトロで有名な宮崎駿監督はある会見の場でこういう趣旨の発言をしていました。「私の作品を日に何回も子どもに見せているという便りがくる。こんな間違っただけをさせるために私は作品を作ったわけではない」子どもにとって一番必要なことは人とかかわりを持って遊ぶこと、とくに外で体を使って遊ぶことです。子どもの持っている力は昔も今もかわっていません。可能性をいっぱい持った子どもなのに、親の都合で発達が妨げられているとしたら、とっても哀しいことですね。